

担当教員授業題目	臨海実習（埼玉大学）			担当教員	坂田一郎, 津田佐知子, 西宏起, 他		
英文授業名	Marine Biology with Laboratory Work			副担当教員			
単位数	1	講義期間	通年集中	曜日・時限	集中・8~9月	対象学年	3
授業形態	実習	備考					
<p>(1) 授業のねらい（到達目標） 動物の多様性、そして動物発生の基本について理解する。</p> <p>(2) 授業の概要 臨海実験所で採集された動物を観察しスケッチする。さらに、その動物の同定と分類を行う。並行してウニなどの海産無脊椎動物の採精・採卵、受精、初期発生の観察もしくはヌタウナギの解剖を行う。</p> <p>(3) 授業計画（第2部は8~9月に実施予定） 第1部 大学における分類の基礎実習Ⅰ 大学において実習の概要と日程について説明する。また、実際にスケッチと分類を行い、実習の進め方を解説する。 第2部 臨海実験所における分類実習 埼玉大学にて、海産無脊椎動物のスケッチと同定及び分類を行う。また、ウニなどをを用いた受精と発生の観察、もしくはヌタウナギの解剖を行う。 第3部 大学における分類の基礎実習Ⅱ 大学においてスケッチした動物を系統的に分類し整理する。</p>				<p>* 注意事項：数多くの動物をスケッチし同定するため、実習は長時間を要する。ケント紙、2H の鉛筆、色鉛筆は必需品である。</p> <p>(4) 成績評価の方法 実習への取り組み方、提出したレポートの成績により総合的に評価する。</p> <p>(5) 履修上の注意 動物系統学及び動物発生学を含む基礎的な専門科目を履修済みであることが望ましい。8月~9月に、金沢大学臨海実験所で行う。</p> <p>(6) 質問、相談への対応 質問・相談は電子メールで受け付けます。 isakata@mail.saitama-u.ac.jp（坂田）, stsuda@mail.saitama-u.ac.jp（津田）（@を半角にして下さい）</p> <p>* 注意：担当及び内容が変更される場合もあるので、事前に問い合わせください。また、人数制限があるため、受講者の選抜を行う可能性があります。</p>			
<p>【教科書】 使用しない。</p> <p>【参考書】 「ギルバート発生生物学」（阿形・高橋 訳、メディカルサイエンス）、「新日本動物図鑑」（岡田 要・内田清之助・内田 亨；北隆館）、「原色日本貝類図鑑」（保育社）、「日本海洋プランクトン図鑑」（保育社）など。</p>							